



第4期の活動を をふりかえる

第4期川崎区区民会議の提案… 2～3
第4期の活動を振り返って…………… 4

平成 24・25 年度を任期とした第 4 期川崎区
区民会議の活動が終了しました。2 年間で計 30
回以上の会議、フォーラム等の開催を重ね、暮
らしやすい地域社会を目指し、地域課題の解決
を図るための調査・審議を進めてきました。

平成 26 年 3 月 11 日には、第 4 期最後の会
議が行われ、最終報告書の内容について確認す
るとともに、2 年間の活動の振り返りを行いま
した。今号の区民会議だよりでは、その内容
をご紹介します。

■第4期川崎区区民会議委員 市民活動団体の推薦、公募、区長の推薦などで選ばれた 20 名の区民代表

- | | | |
|--|---|--|
| <input type="checkbox"/> 藍原 晃 (連合町内会) | <input type="checkbox"/> 鈴木 真 (医師会) | <input type="checkbox"/> 原 千代子 (区長推薦) |
| <input type="checkbox"/> 赤間 靖夫 (まちづくりクラブ) | <input type="checkbox"/> 高橋 義光 (区長推薦・～H25.4) | <input type="checkbox"/> 深澤 香織 (区長推薦) |
| <input type="checkbox"/> 新井 一成 (公募) | <input type="checkbox"/> 高橋 ロサ (区長推薦・～H24.11) | <input type="checkbox"/> 藤岡 玲子 (海風の森をMAZUつくる会) |
| <input type="checkbox"/> 新井トキ子 (安全・安心まちづくり推進協議会) | <input type="checkbox"/> 知念ジョアナ (区長推薦・H25.5～) | <input type="checkbox"/> 藤又 裕之 (区長推薦・～H24.6) |
| <input type="checkbox"/> 石渡 勝朗 (保護司会) | <input checked="" type="checkbox"/> 寺尾 宇一 (商工会議所) | <input type="checkbox"/> 森脇 卓郎 (区長推薦・H25.5～) |
| <input type="checkbox"/> 岩瀬 絹代 (公募) | <input type="checkbox"/> 富田 順人 (社会福祉協議会) | <input type="checkbox"/> 吉野智佐雄 (かわさき歴史ガイド協会) |
| <input type="checkbox"/> 木島 千栄 (公募) | <input type="checkbox"/> 戸村 正房 (かわさきTMO) | <input type="checkbox"/> 米山 実 (文化協会) |
| <input type="checkbox"/> 小泉 忠之 (民生委員児童委員協議会) | <input type="checkbox"/> 秦 琢二 (PTA協議会) | |

◎委員長 ○副委員長 □部会長

■審議テーマ 委員の意見、区民アンケートから抽出した地域課題を2つの専門部会で調査・審議

みんなのまちづくり部会

審議テーマ1：地域で身近な防災力

審議テーマ2：コミュニティバス導入の促進

すこやか・共に生きる部会

審議テーマ3：地域における健康の推進

審議テーマ4：子どもを地域で支える、子ども
もの生きる力

審議テーマ5：外国人市民も住みやすいまち
づくり

審議テーマ1

地域で身近な防災力



提案：海拔表示板の設置

地域課題：市内で唯一海に面している区として、津波に対する区民の防災意識の向上

提案内容：区内全域の町内会・自治会の掲示板などに「海拔」と「浸水深（大地震発生の際に津波の最高到達点と想定されている高さ）」を記載した表示板の設置

取組状況：アクリル製のプレートが作成され、町内会・自治会の掲示板等を中心に平成25年度から順次設置されています。



提案：「防災出前講座」の開催

地域課題：区民の防災知識（特に臨海部の災害対策など）の向上

提案内容：臨海部の行政機関や企業の災害対策などを伝える講座を区民の集まる場所に講師を派遣する「出前方式」で開催

取組状況：平成26年3月に殿町小学校で最初の講座が開催されました。



提案：外国人市民を対象とした防災訓練の実施

地域課題：市内で外国人市民が最も多い川崎区。防災知識の不足や言語・生活習慣の違いなどから、災害時に弱者化や孤立化の恐れのある外国人市民に対する防災対策の推進

提案内容：外国人市民を対象に災害・防災情報を伝える防災（避難）訓練の開催

地域の人と外国人市民が知り合い、互いに助け合える関係・環境づくりの推進

取組状況：外国人支援などの活動に関わる団体との意見交換を行い、実態やニーズの把握に努めました。また、平成26年3月に区内で開催された外国人を対象とした健康診断の場で防災情報の提供を試行しました。

審議テーマ2

コミュニティバス導入の促進

※第3期川崎区区民会議からの継続審議課題

提案：福祉や生活環境の向上につながるバス路線



地域課題：区内を移動する際の交通手段の改善による福祉や観光、生活環境の向上

提案内容：区内公共施設や商業施設、医療施設などを巡回する路線ルートを設定し、そのニーズを把握する試走体験会、アンケート調査などを行った結果、十分な路線ニーズが認められなかったため、区民会議での審議は第4期で終了することとしました。

ただし、区内横断路線や川崎駅東西接続路線などの区民の路線要望や、地域の高齢化などから、バス路線の計画策定などの際には、福祉や観光、生活環境の向上に関して十分に考慮する必要があります。

取組状況：地域交通に関するアンケート調査結果（無作為抽出区民1000名・有効回答302通）

・区民会議で提案した路線について、現状のバス路線で十分という人が約50%で最も多かった。

審議テーマ3

地域における健康の推進



提案: 予防接種の接種率向上に向けた取組

地域課題: 予防接種の接種率が低い「川崎区の子どもの予防接種の接種率」の向上

提案内容: 予防接種の接種率向上につなげる効果的な広報の実施

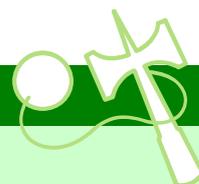
予防接種の重要性などへの理解を深める取組の実施

取組状況: 予防接種に関するアンケート調査の実施(区内の小学6年3校、中学3年3校)

- ・接種が望ましい年齢が高い予防接種ほど接種率が低かった。
- ・予防接種情報の入手方法でもっとも多かったのは「区役所からの通知」であった。

審議テーマ4

子どもを地域で支える、子どもの生きる力



提案: 地域の活動団体同士の情報共有や連携

地域課題: 地域で子どもの成長・健全育成を支える環境づくりの推進

提案内容: 子どもに関わる地域の活動団体同士の情報共有や連携の仕組みづくり

取組状況: 大師地域において、子ども文化センターを会場に地域の子どもの関わる活動団体の情報交換会を開催。今後も年数回を目処に開催の継続を目指し、団体同士の連携、参加団体の拡大について引き続き検討していくことが確認されました。

提案: 共通のツールを活用した世代間交流の推進



地域課題: 地域での世代間交流の場づくりの推進

提案内容: 子どもと高齢者が一緒に楽しんだり、学んだりすることのできるツールを活用した世代間交流の場の提供

取組状況: 平成25年11月に開催した区民会議フォーラムの企画の一つとして、世代間交流を促進する新たなツールを検討するため、高齢者を講師とする囲碁・将棋体験教室を開催しましたが、参加者は数名にとどまりました。今後は、多くの参加者を集める有効なツールや呼びかけなどの工夫が求められます。

審議テーマ5

外国人市民も住みやすいまちづくり



提案: 多言語(6ヶ国語)窓口問答集の作成

地域課題: 区役所窓口での外国人市民への効果的な情報伝達

提案内容: 6ヶ国語(英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語)に対応した区役所における窓口問答集(Q&A)の作成

取組状況: ・窓口の職員へのアンケートを実施、相談内容や対応実例の把握に努めました。
・他区で導入事例のある「TV通訳(対面式多言語案内)システム」の調査を行ないましたが、費用対効果や利用実績の面から、今後も経過を見守るにとどめました。
・窓口問答集の作成にあたっては、外国人市民を対象にしたアンケートやヒアリングの実施など、外国人市民の側から見た課題把握の必要性が指摘されています。

「第4期川崎区区民会議」のふりかえり

第4期最後の全体会議での参加委員の声から

- 防災については、5期以降でもぜひ検討していただきたい。
- コミュニティバスの件は提案につながらず残念だった。
- 海拔表示板がすぐに実現した。区民会議は、実現につながる力がある会議だと感じた。
- 区民会議の認知度を向上させる取組が必要だ。
- 臨海部の視察やコミュニティバス試走、子育て団体情報交換会など試験的な取組を行いながら検討でき、良かった。
- 囲碁・将棋を活用した世代間交流に思うように人が集まらなかった。今後反省を活かしたい。
- 外国人市民の情報や声を伝える役割を果たしていきたい。
- 自然や道路などの問題にもっと気を配っていく必要がある。
- 区の交通網の全体的な見直し、再整備の必要性はいつか出てくるだろう。
- 外国人市民の問題は日本人市民側の問題でもある。
- 地域で子どもを見守り、身体面・精神面で子どもが元気に成長できる川崎区であってほしい。
- 人と人のつながりづくりが課題だ。提案は少し漠然とした部分が残ってしまった。
- 交通網のニーズは今後高齢化の進行などと共に変化していくだろう。最近、自転車の事故が増えていることが気になる。



川崎区区民会議をもっと知りたい方へ

- お問い合わせは…事務局：川崎区役所まちづくり推進部企画課 〒210-8570 川崎区東田町8番地
電話 044-201-3267 FAX044-201-3209
E-mail:61kikaku@city.kawasaki.jp

- 「市政だより川崎区版」などにも情報を掲載しています。
- 川崎区ホームページ内の「川崎区区民会議のページ」では過去の会議の要点、資料、議事録、報告書などが掲載されています。

川崎区区民会議

検索



<http://www.city.kawasaki.jp/kawasaki/category/94-10-1-0-0-0-0-0-0-0.html>

- 区民会議の全体会や部会の会議は傍聴することができます。(現在は第5期が活動中です。)